

1. 事業の目的

(1) 遊佐町を取り巻く現状

- 平成 22 年に過疎地域に指定、国勢調査による総人口は減少の一途、過疎化に歯止めがかかっていない状況にある。**【このままだと無くなってしまいう町！からの脱出が急務】**

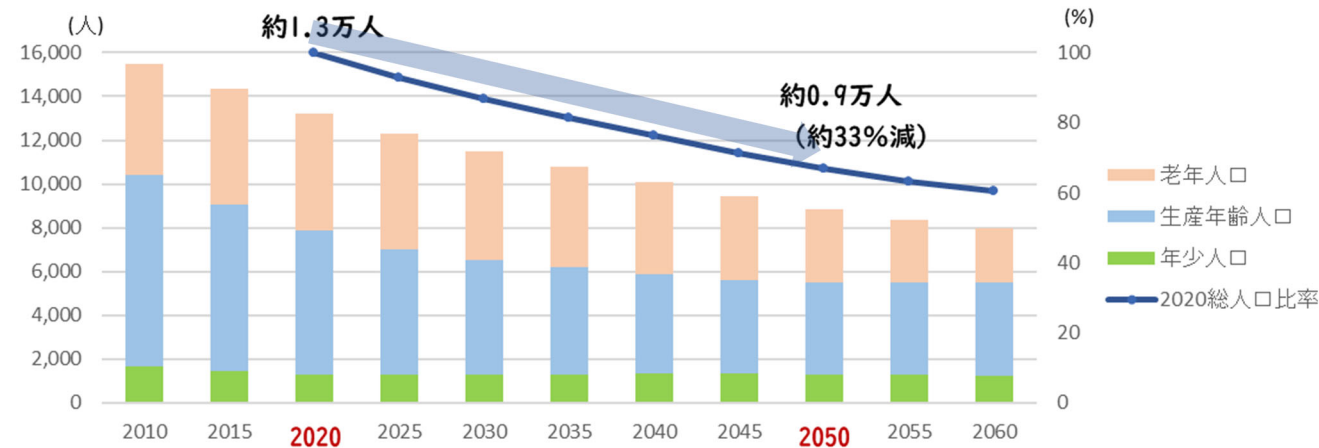


図 遊佐町の将来人口推計に基づく将来人口の目標 (資料：遊佐町総合戦略)

- 過疎化の主な要因として考えられるもの
 - ① 農業・水産業等一次産業従事者を中心とした町内居住者の所得水準の低下(担い手不足)
 - ② 農業・水産業等地域産業の低迷による就業機会の減少(機会損失)
 - ③ 就農者の高齢化、耕作放棄地の増加(活力の衰退)
 - ④ 若者へのチャンスが少ない、憧れる場所が少ない

(2) 日沿道の開通による Parking Area Town(PAT)への期待(ヒアリングより)

- ① 日本海側は古来より長距離の往来が多い街道であり、国道 7 号は秋田県への流入出が最も多い場所。旅行スタイルはマイカーによるファミリー旅行にシフトしており今以上に交流人口が増加することが期待される。(日沿道の R12 年将来交通量推計 116 百台日)【ターゲットはマイカー利用客】
- ② マイクロツーリズム圏内である山形・秋田をはじめ、東北全体+新潟県側からの広域から観光客が来やすくなる。(出口調査では、山形県内・秋田県内の来訪者が約 7 割占める)【商圏は超広域】
- ③ 日沿道区間内でもトイレがある場所が限られているため、**トイレ休憩に丁度良い場所としての需要が高いことが期待**される。(出口調査でも「あったから寄った」方が 6 割)【ふらっと立寄る安心・安全のポイント】
- ④ 地域の維持・発展に寄与するよう、農産物・海産物・加工品など**遊佐町の魅力**を知ってもらい、積極的に消費してもらうことで、**地域産業に従事する方々の所得向上・後継者の育成などに繋げたい**。【マイナスから 0 からプラスへ導くことで遊佐町の風景を守る】
- ⑤ 遊佐町や環鳥海エリア(ジオなど)の良さ・魅力をさらに高め、もっと知ってもらうことで**交流を活発**にしていく。【目的地となる場所、プラスから更なるプラス領域へ】
- ⑥ **PAT 周辺への一極集中ではなく、町全体が活性化**するシカケを講じることで、観光に限らず、教育や就農・ビジネスなど様々な交流が活性化することが期待される。そのためには、規制の枠や概念に囚われない、新しい発想を取り入れたい。【危機感を持った世代交代の機会】

(3) 遊佐町の魅力・遊佐町らしさ(プラスから更なるプラス領域へ、その素材)

【自然・景観】

- 鳥海山 深田久弥の一節「山容蒼麗な鳥海山が間近に迫り、訪れた人誰もがハッと息を飲むほど美しく、迫力が感じられる場所」 水田があり、里山があり、その奥に鳥海山があるという構成が県内では唯一の場所、田園風景、生態系(照葉樹林の北限地などの特徴)
- 鳥海国定公園に指定されている日本海の海岸線、二ノ滝や高瀬峡、ジオパーク、丸池様

【食資源】

- 縄文時代より続く四季折々豊かな食資源。月光川水系では 10 万尾を超える鮭の遡上がある。
- 水。水は無料(タダ)という時代は終わり、鳥海山の天然水は十分資源となりうる。
- 遊佐米、日本酒、「日本海側の野菜の味は濃い」と言われる様々な農産物(メロン・スイカ・パプリカ・長芋・ゴボウ・かぼちゃ等)。
- 海産物。吹浦漁港漁獲高トップは、たら(19t)、はたはた(19t)、牡蠣(14t)、さけ(11t)(※R 3 年漁業年報より)。新ブランド・おぼこ鱈、養殖サクラマス・鳥海アワビ(現在開発中)、マグロ、のどぐろ、アマダイ、トラフグ等
- 遊佐ウイスキーが R4 年より販売開始。

【アウトドア】

- ジャパンエコトラックの一拠点となり得るアウトドアフィールド
- 自転車(E バイク)で走り回れるほど平坦な地形と、一気に 2,000m の高低差を駆け登る鳥海の立上り
- 厳しい気象条件、冬季の暴風雪、だしかぜ(東風)

【人】

- 出口調査でも道の駅で働く方々への好印象を抱く方の割合が高い。
- 子育て世代・若者

(4) 新道の駅への期待(事業の目的=本事業で達成したい Goals)

① 旅の寄道ポイントを超えた、旅の目的地の 1 つとなるような拠点の形成(多くの人に来てもらう)

- 鳥海山の眺望/滞在時間を伸ばす仕掛け/登山等アウトドアフィールドの準備拠点/ジオパーク中間拠点
- 豊かな食文化を堪能できる場所/半屋外で寛げる場所

② 町に人の流れが広がるゲートウェイとしての拠点の形成(多くの交流を生み出す)

- 自転車周遊/町内観光周遊バスの企画・発着/廃校活用の宿泊・鳥海裾野のキャンプフィールド・車中泊ステーションの設置・子供の遊び場(子供センター等)など繋がる部分の選択/就農・教育/ハンガリー国との交流/ワーケーション/地元利用

③ 遊佐の観光=農業 地域のこれからの産業を繋げる拠点(お金を落としてもらう)

- 高付加価値化/適切な資源管理/生産者のこだわりとストーリーをアピールする売り方/エコツーリズム
- ある意味遊佐町らしくない特別な飲食店(出身地に拘らず良さを引き出してくれるシェフによる演出)

④ Society5.0(サイバー空間とフィジカル空間を高度に融合した)地域社会の実現(国内最先端の道の駅)

- 電気自転車/ヘルステック/ヘルスポイント地域通貨の発行/再生可能エネルギー/水素ステーション/未来都市化/SXDX

⑤ 防災・災害対応の拠点(遊佐町安心・安全の高まり)

- 自衛隊等の活動拠点/ヘリポート/自家発電の機能/激甚化する自然災害への備え

2. 事業の内容

■ 新道の駅のテーマ・コンセプト(案):

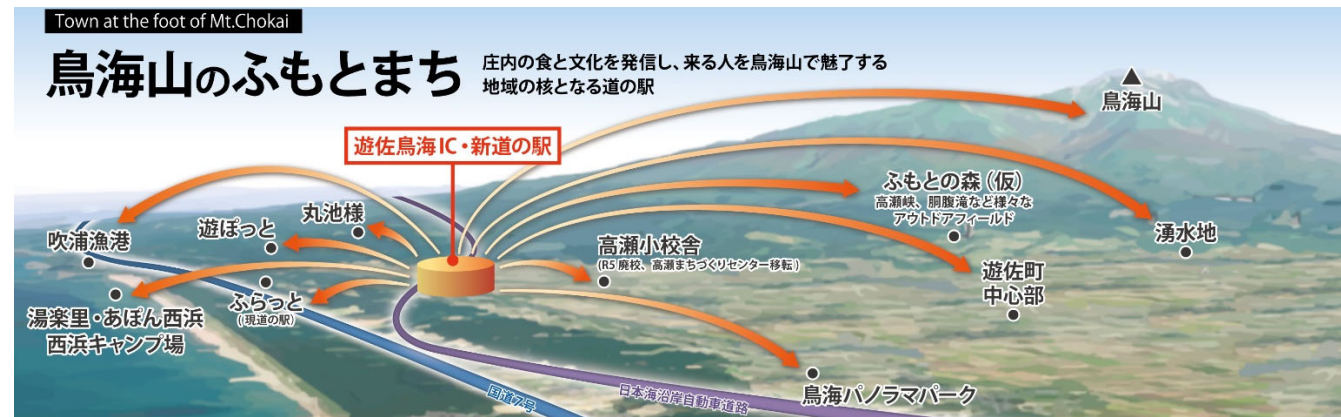


図 新道の駅のテーマ・コンセプトのイメージ

- ・道の駅＝“まち”として、小さな賑わいが複数集まることで大きな賑わいを形成するような場の形成を目指す。
- ・道の駅はひとつの拠点であり、周辺の地域全体も包括してひとつの道の駅というような視点で考え、機能分散も含め、同じようなシステムで使えるものは活用することで、一体感のある地域おこしを目指す。
- ・地域全体(ALL 遊佐+環鳥海)で、新道の駅への期待に応える場所と仕組みを創っていく。

町では、特産品の開発支援や、様々なフィールド(公有地・施設等)の民活検討、地域産業従事者後継者不足の解消に向けた取り組みなど、公民が連携した道の駅活性化に資する支援の検討を進めて行く。(案)

■ 新道の駅の整備基本方針(案)

①鳥海山のある風景・日常を感じられる道の駅

- ⇒季節によって様々な表情を見せる、少し恥ずかしがり屋の鳥海山を様々な確度から見る事が出来る多様な眺望空間を確保する。
- ⇒鳥海山の山体だけではなく、裾野に広がる里山や四季折々の田園風景も含めて遊佐町の宝であり、その素晴らしい眺めを楽しめる視点場・滞留場所を確保する。

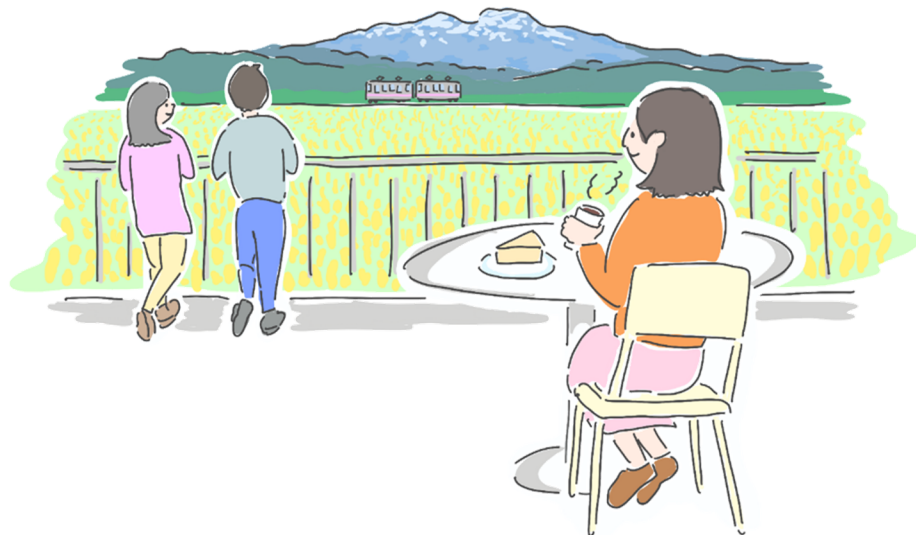


図 鳥海山の眺めを楽しむ様子

②ジオ・アウトドアフィールドへの出発基地となる道の駅

- ⇒ジオ・アウトドアという切り口で、道の駅に来た人をおもてなしし、準備を手伝い、元気に送り出す拠点となるような道の駅を目指す。(ジオ・登山・アウトドアに関する情報拠点)
- ⇒コネクターハブ型(観光情報の中心(ハブ)と、観光スポットを橋渡(コネクト)する役割)の道の駅を目指す。
- ⇒道の駅から、ふらっと町内を散策したくなるようなお得情報を発信するとともに、マイカーに限らない、多様な移動手段に対応した道の駅を目指す。(自転車・Eバイク・地域バスなど)



図 Eバイクの貸し出し・安全安心な登山のイメージ

③豊かな食資源を、様々な演出で楽しめる道の駅

- ⇒鳥海山のふもとで生産される様々な農産物・海産物とその加工品、加えて県内の果物など山形県らしい農産物を“気軽に”買うことができる、地元の方も来やすい産直とする。
- ⇒ALL 遊佐+環鳥海+庄内・酒田エリアの商品が集まる物産とする。
- ⇒雑然としつつ賑やかで活気のある飲食空間と、景色を楽しみながら気ままに味わえる半屋外空間、景色料理を楽しめる付加価値の高い上質空間を確保する。
- ⇒町内の事業者も参画できるように受け皿を確保する(テナントスペース)。



図 四季折々の新鮮な食材

④Society5.0 最先端道の駅

- ⇒再生可能エネルギー・水素など、将来を見据えたエネルギーステーションを構築する。
- ⇒例えば、生鮮物の販売状況などをリアルタイムで見ることができ、それを見ながら生産者は自発的に収穫・出荷することを促すような仕組みを構築する。
- ⇒例えば、ヘルステックの活用による町内散策の促進(ポイント発行)など、新たな発想の受け皿となる仕組みを構築する。
- ⇒WEB・SNS等を活用した、様々な映像・写真を活用したPRの仕組みを構築する。



図 ITテックを使いこなす農家のイメージ

⑤防災拠点となる道の駅

- ⇒救援物資・部隊が展開できる広い駐車場、広場、ヘリポート、調整池など、災害時における復旧の活動拠点として必要な機能・設備を構築する



図 防災拠点のイメージ

道の駅 新游佐 土地利用計画図(案)



ゾーンの凡例

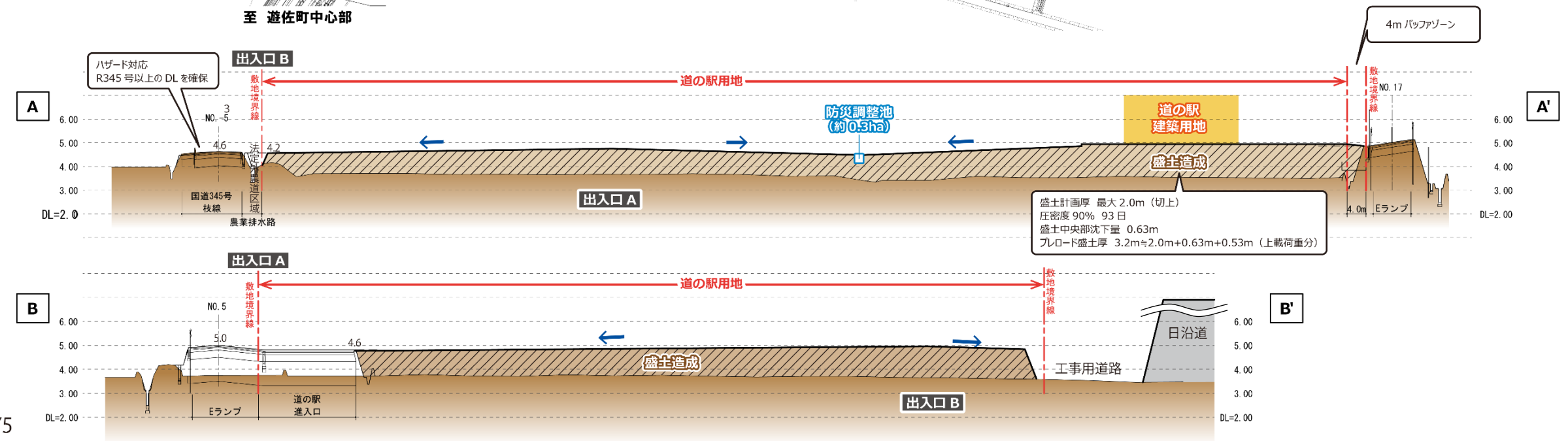
- 道の駅建築ゾーン
- 緑地ゾーン
- バックヤードゾーン
- バス停留所ゾーン
- 防災調整池
- 駐車場(小型車)ゾーン
- 駐車場(小型車)ゾーン
- 敷地面積 34,797.841㎡ (約3.51ha)

動線の凡例

- 歩行者動線
- 自転車動線
- 小型車動線
- 大型車動線
- サービス動線

1/2000 (A3)

至 遊佐町中心部



X1 : Y5